



寺ネット・サンガ通信 第21号

寺ネット・サンガ事務局 〒146-0082 東京都大田区池上1-19-10 永寿院内
Fax 03-3751-0533・メール info@teranetsamgha.com

お寺がなくなったら…

寺ネット・サンガ代表 吉田尚英

葬儀やお墓の昨今の急激な変化はお寺の存続にも大きな影響を与え、消滅していく寺院も少なくないといわれています。もし、お寺がなくなったらどうなるか？ 何が起きるか？ を考えてみましょう。



●お寺がなくても「何とかなる」

- ・葬儀 →直葬、火葬さえできればよい
- ・墓 →永代供養・散骨・樹木葬 →遺骨の処理ができればよい
- ・法事 →墓参りをすればよい
- ・観光 →建物や境内が風景として残っていればよい
- ・文化 →仏像や絵画は博物館で見ればよい
- ・僧侶 →金儲けしか考えていない坊さんは不要

※「お寺」というとまず連想されるのが「葬儀」「墓」「法事」「観光」「僧侶」ですが、昨今の儀礼の簡素化や供養の多様化の中で、お寺がなくても「何とかなる」ことに皆が気づき始めたのでは…

●お寺（神社）がないと「ものたりない」

- ・お祭り →自然相手の仕事をしている人たちは神頼みが必要
→地域のコミュニティが崩壊してお祭りがなくなると寂しい
- ・年中行事 →お正月は神仏にお参りしたい、盆彼岸はご先祖さまにお参りしたい
- ・祈願・祈祷 →僧侶・神官抜きだと、怪しい宗教になってしまう

※「信仰を持ってはいないが宗教的な心は大切だ」という考えが日本人の宗教観の特徴だといわれます。八百万の神を感じてきたDNAの影響でしょうか。スピリチュアルに関心を持つ若者も増えています。

●お寺がないと「困る」

- ・信仰 →道徳観・生死観・先祖観・家族観などへの影響は大きい
- ・布教 →仏の教えに基づいた人生の道しるべを示す
- ・歴史 →信仰に基づいた行事や文化を正しく伝える
- ・修行 →仏の存在を意識しながら心身の鍛錬を積む
- ・供養 →鎮魂・追悼には人知を超えた仏の存在が必要

※仏教は仏に成る教えです。仏教を伝えるお寺がなくなると皆が仏に成れなくなってしまう。そして、鬼が跋扈し世の中が荒れ果てます。お寺の本来の役割に気づかなければならぬ時なのです。原点に戻り、皆で仏に成る道を歩んでいきましょう。

昨年度の行事

コロナ禍でも工夫をしながら下記のイベントを開催しました。



令和3年12月21日(火) オンライン坊コン 「歳忘れかくし芸大会」

お坊さん4名と一般4名の8人がかくし芸の披露となりました。
名取さんのお地藏様とメッセージの作画、松本さんのマジック、吉田さんのギターの流し風弾き語り、増田さんのマジック…ではなく超能力披露の他、「都市伝説」、「最短 日本昔話」、ウクレレ&ものまねなど楽しい1時間半を参加者の皆さんで過ごしました。

令和4年3月26日(土) コラボ企画 ミニツアー

武蔵野文化協会とのコラボ企画「言問団子と黄檗宗弘福寺をめぐる」
風の強い午後、スカイツリーのおひざ元、墨田区向島周辺を歩きました。
江戸時代に越後屋を創業した豪商 三井家ゆかりの三囲(みめぐり)神社を参拝。
三越デパートのライオン像や三角鳥居など不思議な空間が広がっていました。
その後、牛頭山弘福寺へ。黄檗宗では現在も近世中国語の発音で読経しており、中国語発音の般若心経を読経してお参りをしました。



令和4年4月23日(土) 「流山の立木観音 円東寺参拝」

円東寺の住職は増田俊康。区画整理のため伐採予定であった境内の樹齢400年のイチヨウの大樹を、平成25年から8年かけて根の付いた状態で彫刻し、立木観音として生まれ変わりました。その観音様を護るための御堂も落慶。
今回の参拝では、先ず腕輪念珠を作るワークショップが行われた後、本堂にて念珠を開眼。早速、十一面観音像の御堂へ。イチヨウの根がしっかりと観音様をお参りし、さらにイチヨウの根元を潜り観音様の胎内くぐりが出来ました。



令和4年6月29日(水) 坊コン「いまだにいる『ひどいお坊さん』」

プチ法話は吉田尚英(日蓮宗)さん。アンケート事例から、僧侶が遺族に対して失礼な態度を取ったと感じた経験があるという葬儀社が5割にも上っているとのこと。勝桂子氏が『いいお坊さん ひどいお坊さん』を上梓した2011年と変わらぬ「ひどいお坊さん」がいまだにいると問題提起をされました。
休憩後に、3班に分かれて「お坊さん」というテーマで自由に話し合い、僧侶側だけでなく葬儀社や遺族側の態度の問題なども出て考えさせられました。



令和4年8月31日(水) 坊コン「かつてカルトにいた友のこと」

プチ法話は浄土真宗の松本智量さん。浄土真宗では、敢えて答えは出さず“迷うことの力”を認め、迷うことを良しとする。一方カルトには“正しさへの誘惑”という魅力があり、明確にただ一つの答えを出してくれるので気持ちがいい。しかし、そういう時こそ、“ブレること”の出来る勇気“が必要なのです。”迷う力”が大切です。そこに「希望」があるのが仏教の教えなのです。
休憩をはさみ、グループディスカッションでは、バランス感覚を持っていることが大切、善悪の区別をつけるのってそもそも難しいなど、僧侶の方々も考えさせられることが多いテーマでした。

